

国立看護大学校図書館 ミッション

本学の教育理念である「人間存在の理解」「深い洞察力と共感」「生命の尊厳と自由を貴ぶ倫理観」を養い、ヒューマンケアの精神に基づいた高度専門的看護の実践を目指す看護学生への学修支援を使命として、図書館は5つの柱を重点としたサポートを行う。

1. 豊かな人間性と知識の涵養

医療・看護分野をはじめ、文化や歴史等、幅広く豊かな情報資源の収集に努める。

図書館を通じて、学生・教職員・病院関係者が双方で知識を共有し深め合うことで、新たなコミュニティの創成に寄与する。

2. 看護職の基盤となる能力の育成と生涯学習支援

カリキュラムに則した資料の収集と組織化に取り組み、多様なメディアを利用可能とする環境整備に努める。

学生個々の目的に応じた学修環境を提供し、自律した学習を支援する。グループ学習室の積極的な活用を促し、将来チーム医療の場で専門看護の知見から積極的な発言が出来る人材の育成を支援する。

学生が卒業後も自ら課題解決に取り組むことが出来るよう、図書館の基本的な使い方から、生涯学習のための情報検索技能の習得までを支援する。

3. 研究支援と情報活用

研究課題に応じて、グローバルな情報検索の提案と、情報リテラシー教育の支援、文献へのアクセスを提供する。また、司書はそのための研修に努める。

学術関係機関に属することで国際的な動向を意識しつつ、機関リポジトリによる本学の教育・研究成果の適切な保存と公開を行う。

4. 交流支援と対話の促進

図書館が多機能スペースを持つことにより、コミュニティの場を提供し、学生や教職員、学外の交流に寄与する。

国際社会への意識や高いコミュニケーション能力、災害援助や感染症等、様々なテーマを用いた展示やワークショップを通じて人間存在の理解へと導く場を提供する。

5. 知の開放と社会貢献

国内でも有数の看護系図書館として、医療従事者、近隣の看護学生等、地域住民に対して図書館を開放する。

医療・看護関係団体と連携し、看護系専門図書館の発展に努めると共に、貴重な資料を適切に保存・管理し、知の遺産を後世へ伝える事に努める。